

2009年度（立ち上げ準備から）



○ピンクリボンの会誕生

2008年、若い女性の乳がん患者の実話を題材にした映画「Mayuーこころの星」の上映会が県内各地で開催されました。その映画のラストシーンで主人公が街頭でピンクリボン運動に取り組む姿が描かれており、盛岡で上映会を取り組んだ人たちの間で、「ピンクリボン運動」を岩手でも広めたいという声上がり、専門医に協力依頼をするなど3人の有志（アイリスの会鈴木、『がけっぷちナース』著者山内、映画配給中山）が世話役として活動を始めました。そして会の代表として保健行政のベテラン仁昌寺（現会長）が加わり、4人がそれぞれの得意分野で力を発揮し、設立準備会を経て、2009年5月に設立総会にこぎつけました。折しも、2007年（平成19年）に「がん対策基本法」が制定され、県の取り組みが始まった頃でした。



中三デパート他、3店舗ツリー設置



第1回のフェスタで 顧問の先生挨拶



スマイルウォーク開催《商店街を行進》



ピンクリボンツリー設置



東北電力の鉄塔をピンクにライトアップ10/1～7



盛岡城跡公園石垣ライトアップ10/1～2

2010年度



〇土台作り

活動の拠点となる場所も、資金もない中で手探り状態でのスタートでしたが、背中を押してくださった4人の専門医、多くの企業・団体、何よりも設立総会に駆けつけてくれた頼りになる素晴らしい仲間の声が大きな支えとなり、又、報道機関からも取材依頼が相次ぎ、会の存在と活動の趣旨は広く県民に伝える事ができ、一步を踏み出す力となりました。

当面は、10月一か月に渡る「ピンクリボン月間」の啓発活動を柱にして取り組むことになり、初年度の《2009いわてピンクリボンフェスタ》から実施予算の全額を寄付金に託し、全力で取り組みました。県の担当者から（公財）いきいき岩手支援財団の助成金申請のアドバイスをいただきその後の5年間大きな基盤になりました。



リボンツリーも華やかに！



スマイルウォーク:仁昌寺会長開会宣言

ライトアップ2年目



10月1日～7日:東北電力鉄塔



映画館通り⇒大通商店街を行進



行進の後は、バナナと牛乳で…



3.11東日本大震災救援物資手配(NPO法人乳房健康研究会依頼)



10月22日～28日:盛岡城跡公園石垣



○試行錯誤の日々

役員が県内に散在し、多業種に属している事が大きな利点であるはずが、会議の日程調整等、意思疎通がままならず、組織・運営する事の難しさを痛感しました。この頃中心メンバーの二人が去り、役員体制が定まらず不安定の状態に陥り、事業を始める以前の課題にぶつかりました。仁昌寺会長の「ピンクリボンフェスタをやる度に反省点ばかりが続出し、このまま続けていけるのかとても不安で自信喪失だった」という言葉で、当時の状況が察しられます。

2011.3.11 “東日本大震災” 発生。二回のフェスタで学んだ事を次に生かそうと、次年度の企画を考えている最中の事でした。2011フェスタ実施は総会で決めることになり、当然の事ながら休止状態でした。そんな時NPO法人乳房健康研究会から、救援物資の連絡が入り、事務局長の采配で、被災地に物資を届けることができました。



イオンモール盛岡の特大ツリー



ウォーク会場で受け付け準備完了



さあー！並んでください…。



スタッフ一同勢揃い。お疲れ様！



公園広場⇒東大通り。ここから1.8km頑張ってください。



○解決の糸口

継続が危ぶまれるほど不安でしたが、「一緒にやります」と手を挙げてくれる人がいて、新たな役員体制でスタートしました。震災の年も総会に参加した宮古の会員から「公共の事業がみな自粛です、民間の力で実施できる行事は続けて欲しい。それが被災地の励ましになります。」と発言があり、全員の心を打ち、続けるきっかけになりました。ただ1回、2回目と実施したライトアップはその後実現に至っておりません。

2012年7月には、活動の拠点として、岩手県対がん協会が一室を無料で貸してくださるという、うれしい出来事がありました。仁昌寺会長は、印刷物に「事務局：岩手県対がん協会内」と明記できたことは、ピンクリボンの会が社会的に認めてもらえ、人格を与えてもらったように感じたと、当時を振り返っています。



講師：柏葉匡寛先生



講演会：えーそうだったのね…。



このへんに何か触れませんか？ どれどれ



お母さんといっしょに飾ってね…



出発前の準備体操は(岩大保健体育科栗林教授)の指導でバッチリ！



参加グループで記念写真

中の橋下中津川河川敷でのスマイルウォーク

2013年度



〇活動資金が大ピンチ

活動資金は助成金と寄付金で賄われてきましたが、いきいき岩手支援財団の助成期間終了にあたり、幹事会では事業を縮小するか、資金確保の方策を考えるか？について熱い議論が交わされ、結果として平成25年度から1口1,000円の会費徴収（口数は限定せず個人の意思）を決定し、企業等に寄付金のお願いすることになり、会が多彩な顔ぶれで構成されていることが、この資金難の中でもまた、一層役立つことが実証される形となりました。

フェスタでは、設立5周年記念特別事業として、35歳～40歳代の検診未受診者に、乳がん無料検診を地元の情報紙、新聞、ラジオを介し呼びかけ、スマイルウォークの会場で実施しました。当日は専門医2名の診断を得てその場で結果が伝えられました。



イオンモール盛岡の啓発活動



講演会の後は「ゆる体操」で
リラクスタイム



オープニング：5周年記念の会長あいさつ



ゲスト出演ビッグブルズダンサーズ



ゲスト：ものまねタレント田口祐希さん



今年の講師は県立中央病院宇佐美先生：「わかる！乳がん」

東奥森永牛乳協会寄贈：ロゴ入りテント



準備体操は今年も岩大栗林教授の指導で万全です



5周年記念事業「乳がん無料検診」実施（ウォーク会場）



○ピンクリボン運動に望むこと

継続こそ力なり。「意識を変える」「関心を高めること」は続けてこそ、叶うもの。

「いわてのおっぱい 乳がんから守りたい！」はスタート時のスローガンです。発足当時乳がんに対する県民の関心は低く、ピンクリボン運動の成り立ち、命を守るために検診が大切な等々、伝え続けてきました。乳がんが年々増えている現状では、もはや他人事ではありません。乳がんでは悲しむ人を減らしたい、女性はもっと自らの健康に関心をもってほしい、そんな願いをこめて活動してきました。

今では啓発活動で声をかけると、「母が乳がんでは亡くなりました。頑張って活動してくださいね…」「ここで教えてもらって自己触診して、病院にいったの」などが聴かれ、県民の反応も温かく好意的になってきたと思います。息の長い活動で、乳がんへの関心を高めていきたいものです。



ジョイス東安庭店：啓発活動スタートです！



ウォークは教育会館が集会場です
ゲスト：予防医学協会さんさチームの皆さん



今年からカワトクデパート屋外特設会場で啓発活動



行進は教育会館前をスタート、さんさチームは踊りの衣装のまま「乳がん検診を受けましょう」 北銀大通支店店頭に巨大なロゴマーク出現！



柏葉先生と奥村アナのトークセッション





初めて経験する委託事業〈東日本大震災被災地支援事業〉最後が岩手でした。



無料検診風景



出演者による《パネルディスカッション》



観音めぐみミニコンサート



クイズラリー：全問正解！

10月1日オープニングセレモニー《カワトクデパート》



『今日から一ヶ月よろしくお願ひ致します』



スタッフ親子の声掛けて準備体操 1・2



『検診受けてますか』



今年も最高のウォーク日とでーす。

2015 いわてピンクリボンフェスタパネルディスカッション
女性がいきいき輝くために

主催：いわてピンクリボンの会
共催：岩手県医師会、(公財)岩手県がん協会、(公社)岩手県商工会、(公社)岩手県観光協会



乳がん看護認定看護師のお話



体験者・認定看護師・司会者のディスカッション



毛髪技能士によるウィッグの話し

2016年度



○多彩な構成メンバー

当会が誇れること、それは構成メンバーが多彩で、各会員の持つ人脈が豊富で力強い実践力があることです。2014年に予防医学協会、2015年には対がん協会のメンバーが副会長になったことから、顧問団体の協力が強まり現在の安定した組織体制になりました。

毎年開催される、フェスタでは、乳がんの正しい知識普及を目指し、専門医による講演会を実施してきましたが、ここ数年は乳がん看護認定看護師による医療現場の事例や、体験者らによる貴重なお話と、ピンクリボンアドバイザー資格を持つ司会者をコーディネーターにパネルディスカッション形式を取り入れる等、出演者全員が会員の役割として協力しています。

ピンクリボンアドバイザーは、民間団体が提唱する資格ですが、初級から上級まであり運動を推進するうえでとても力になっています。



盛岡市立病院のツリー



家族でウォーク参加



講演会：2年目のパネルディスカッション



乳がん看護専門看護師
保健師、体験者のお話



出発前の準備は『マンマ体操』ハーフ両手をあげて背伸びをしましょう…



県立大看護科卒の司会者とディスカッション



○啓発活動

当会の設立2年目から、岩手県看護協会が主催する「看護の日フェア」にブースを設けていただき、啓発活動を実施しています。家族連れが多く訪れ、乳房モデルを使いながら一人ひとりに、乳がん検診のこと、自己触診の方法を説明しながら、早期発見が重要であり、検診で助かる命があることを伝えています。また、女性従業員が多く働く職場や、女性団体の会合の場で実施する出前講座は、年々派遣回数が多くなり、フェスタ以外の啓発活動も定着して来たように思います。

一年を通して啓発の助けになっている飲料水の自動販売機はピンクリボンを描きPRしてくれています。2011年7月キリンビバレッジの自販機をかわきりに、サントリー、コカ・コーラ、ナショナル、ヤクルトと5社の取り扱いが実現し、活動の大きな助けになっております。



10月1日：オープニングセレモニー



看護学生の応援を得て啓発活動



みんなで一緒にマンマ体操



クイズラリーに挑戦!!



1部 【学ぼう！乳がん】

講師：宇佐美 伸 先生



新ウォークコースは、念願の大通歩行者天国



カワトク会場担当スタッフ



2部 【トークセッション】

聞き手：IBC奥村奈穂美アナ

2018年度



○設立10周年を迎えて

今年の定期総会にも、例年同様に県の保健福祉部や顧問団体からご出席をいただき、また県医師会から毎年祝電を頂戴しました。総会の最後には、会員講和を行い、啓発活動を行う上での会員のための勉強や情報交換に役立てています。

10周年にふさわしいピンクリボンフェスタとは、特別な事業を実施する事ではなく、この10年で学んだ事を実践すること、それは継続することの大切さを受け継ぐことでした。会を立ち上げたときの試行錯誤、資金の苦労もありましたが、関わる一人一人がほんの少し力を出し合うことで解消できてきた様に思います。



《リレーフォーライフ2018いわて》啓発活動
9月8～9日 一関遊水地記念緑地公園



岩手県立中央病院設置ツリー



今年も応援スタッフと啓発活動



《岩手大学教育学部附属中学校吹奏楽部》



ご苦労様！バナナと牛乳をどうぞ



乳がん検診を受けていますか！

講演会&トークセッション



【第一部】 講演：大貫先生

講話：星川さん



【第二部】大貫先生・星川さん・奥村アナのトークセッション

2019年度



2019いわてピンクリボンフェスタ・写真集

ピンクリボンツリー設置 【10月1日～31日】



10月1日：オープニングセレモニー 【カワトク会場】



【新規：
スーパーロッキー紫波店】



10月20日：スマイルウォーク 於：盛岡城跡公園多目的広場
【ゲスト出演】



《岩手大学教育学部附属中学校吹奏楽部》



【会長あいさつ】

【恒例のマンマ体操で 1・2・3・4！2・2・3・4～】



【クイズラリーはおかあさんといっしょ】



【大通歩行者天国行進】



【北銀大通支店前】



【カワトクデパート 特設会場】

10月26日：講演会 & トークセッション 於：Big Waffle

【第一部】

【第二部】



講演会：講師 小松先生



【総合司会は奥村アナ】



小松先生・体験者・奥村アナのトークセッション



開会前の予防協職員有志による名曲演奏